

平成 28 年度
あきる野市国民健康保険の医療費分析

平成 3 0 年 2 月
あ き る 野 市

—目 次—

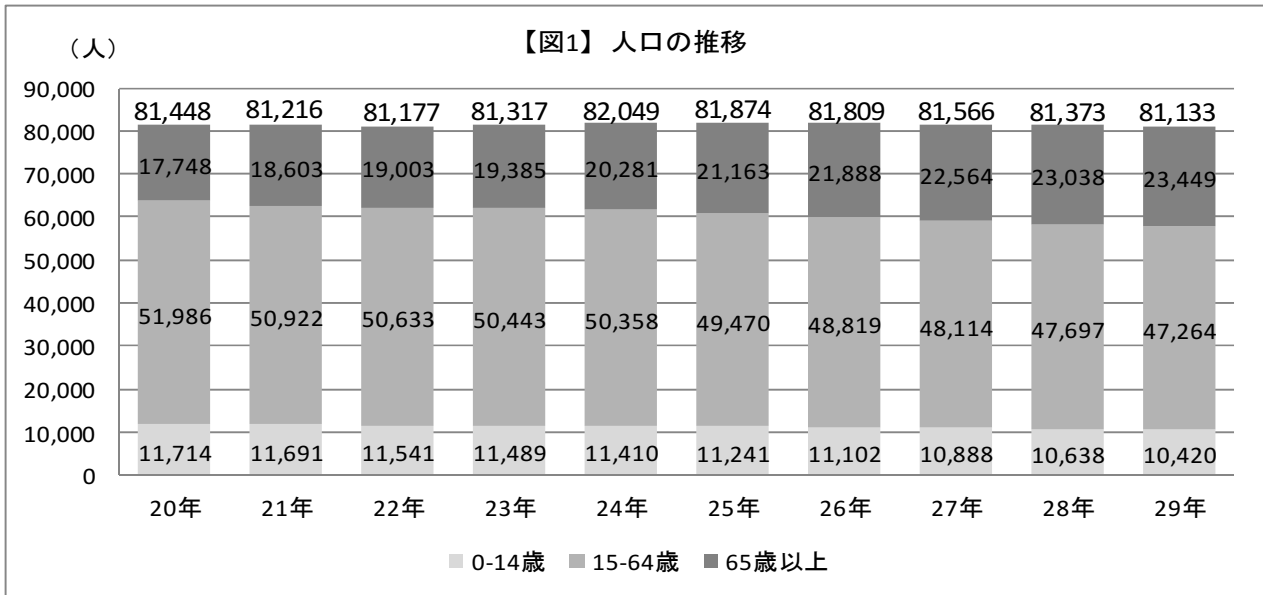
	ページ
第1章 現状の把握	
1 市の現状	1
（1）人口の推移	1
（2）年齢別人口構成	1
（3）平均寿命	2
（4）合計特殊出生率の状況	2
（5）死亡の状況	3
2 国民健康保険の現状	4
（1）被保険者数の推移	4
（2）被保険者数の年齢構成比較	4
（3）世帯数の推移	5
（4）1世帯当たりの被保険者数の推移	5
（5）医療機関の状況	5
3 保健事業などの実施状況	6
（1）国民健康保険事業における取組状況	6
（2）国民健康保険事業以外の市の取組状況	6
第2章 医療及び健診状況の分析	
1 医療データの分析	8
（1）国民健康保険（市町村国保）の医療費の状況	8
（2）被保険者1人当たりの医療費の推移	8
（3）年齢別 被保険者一人当たり医療費	8
（4）大分類別 疾病分類別医療費の状況	9
（5）細小分類別 疾病分類別医療費の状況	11
（6）生活習慣病に係る医療費の状況	13
（7）がんに係る医療費の状況	20
（8）精神疾患に係る医療費の状況	21

第1章 現状の把握

1 市の現状

(1) 人口の推移

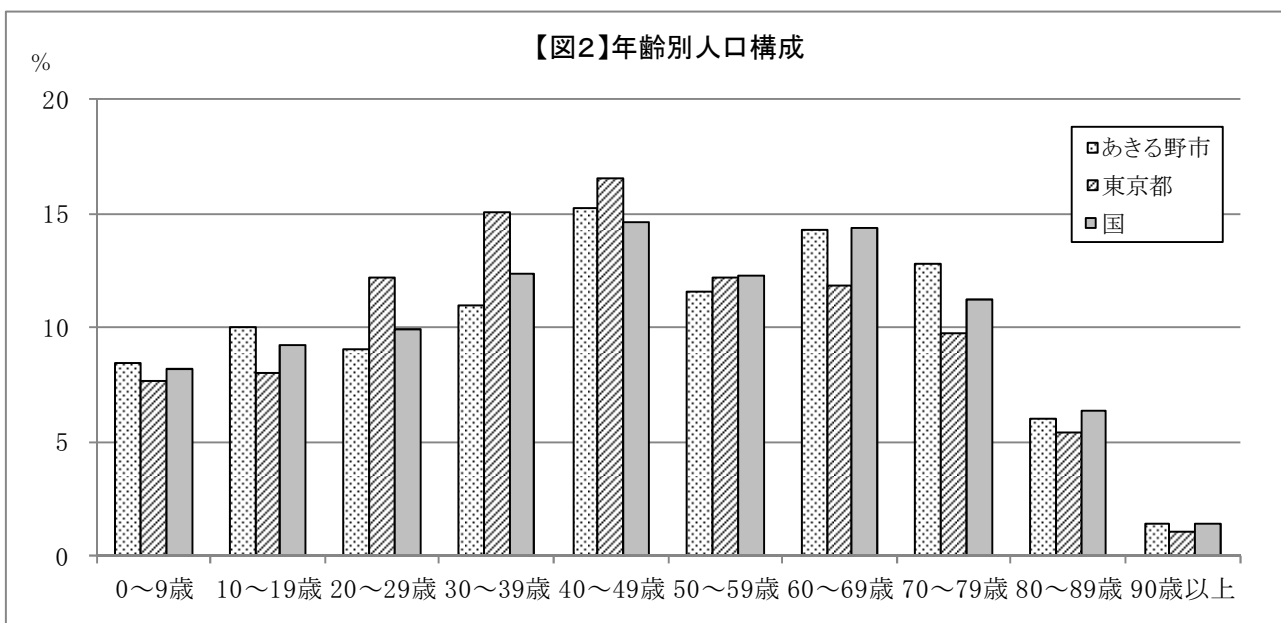
図1は平成20年～29年の10月時点での年齢別人口構成である。平成20年と平成29年を比較すると、14歳以下1,294人減、15歳から64歳4,722人減、65歳以上5,701人増で、総人口は315人減となっている。



(資料：平成20～29年住民基本台帳・外国人登録・総人口)

(2) 年齢別人口構成

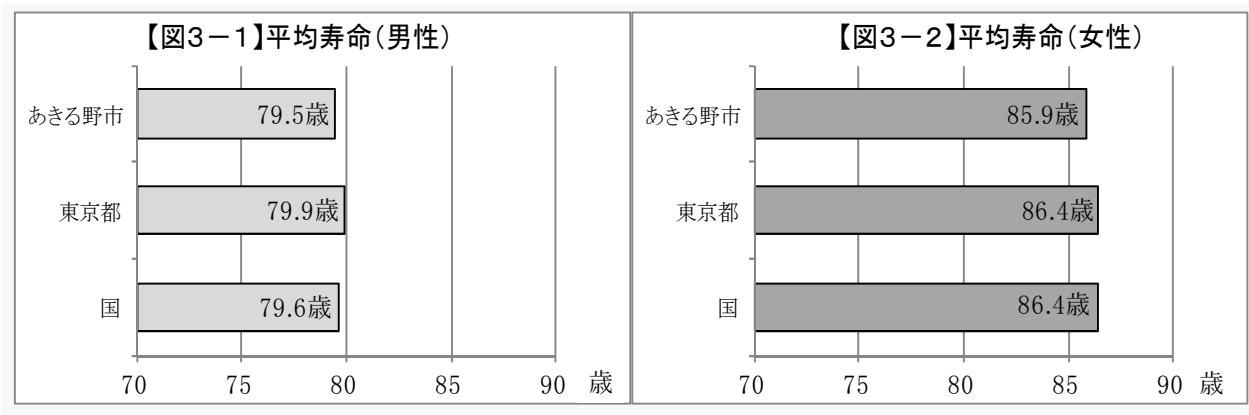
年齢別の人口構成の状況を見ると、稼動年齢層の割合が高い東京都と比較すると、高齢化が進んでいる状況にある。



(資料：平成27年度国勢調査)

(3) 平均寿命

本市の平均寿命は国や東京都と比較して若干低い傾向にある。

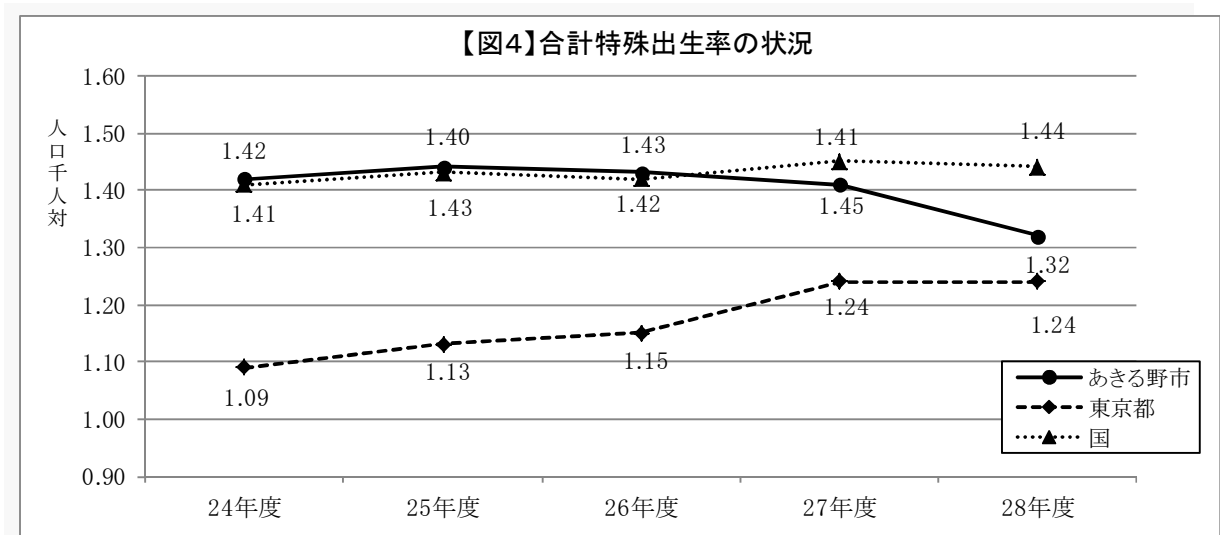


(資料：KDBシステム「地域の全体像の把握」)

(4) 合計特殊出生率の状況

合計特殊出生率は15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、1人の女性が一生の間に生む子どもの数に相当する。

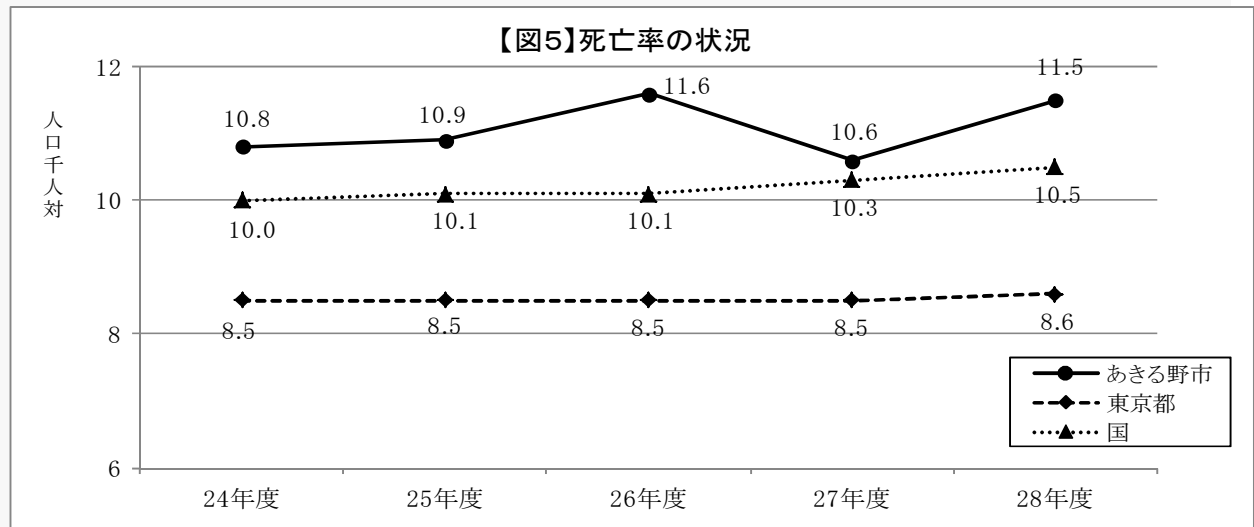
本市の合計特殊出生率は、国と比較すると低いが、東京都と比較すると高くなっている。平成28年の区市町村別順位は、62区市町村中29位となっている。



(資料：平成28年度 厚生労働省「人口動態調査」及び東京都福祉保険局「人口動態統計」)

(5) 死亡の状況

死亡率は、1年間で千人のうち何人死亡したかを表したものである。本市の死亡率は、国、東京都よりも高い。



(資料：平成 28 年度 厚生労働省「人口動態調査」及び東京都福祉保険局「人口動態統計」)

SMR (死因別標準化死亡比) は以下のとおり。SMRとは、異なった年齢構成を持つ地域の死亡率が比較できる指標であり、全国を100としている。本市のSMRが100以上の場合は全国平均よりも死亡率が高いと言える。

	男性			女性		
	SMR	死亡数	過剰死亡数	SMR	死亡数	過剰死亡数
死亡総数	97.1	2021	-60	117.0 *	2114	307
悪性新生物	85.6 *	598	-101	99.3	430	-3
" (胃)	85.5	93	-16	87.1	46	-7
" (大腸)	113.5	91	11	115.5	73	10
" (肝及び肝内胆管)	67.7 *	48	-23	93.8	31	-2
" (気管、気管支及び肺)	79.6 *	132	-34	112.6	66	7
心疾患(高血圧性疾患を除く)	79 *	231	-61	101	327	3
急性心筋梗塞	83.4	65	-13	86.7	52	-8
心不全	101.9	85	2	128.9 *	178	40
脳血管疾患	145.2 *	284	88	145.8 *	298	94
脳内出血	132.5 *	81	20	153.6 *	71	25
脳梗塞	130.4 *	147	34	139.4 *	177	50
肺炎	132.5 *	275	67	144.4 *	264	81
肝疾患	57.2 *	20	-15	111.8	19	2
腎不全	87.9	32	-4	111.2	45	5
老衰	136.5 *	52	14	182.3 *	236	107
不慮の事故	46.5 *	38	-44	51.3 *	29	-28
自殺	86.3	57	-9	77	20	-6

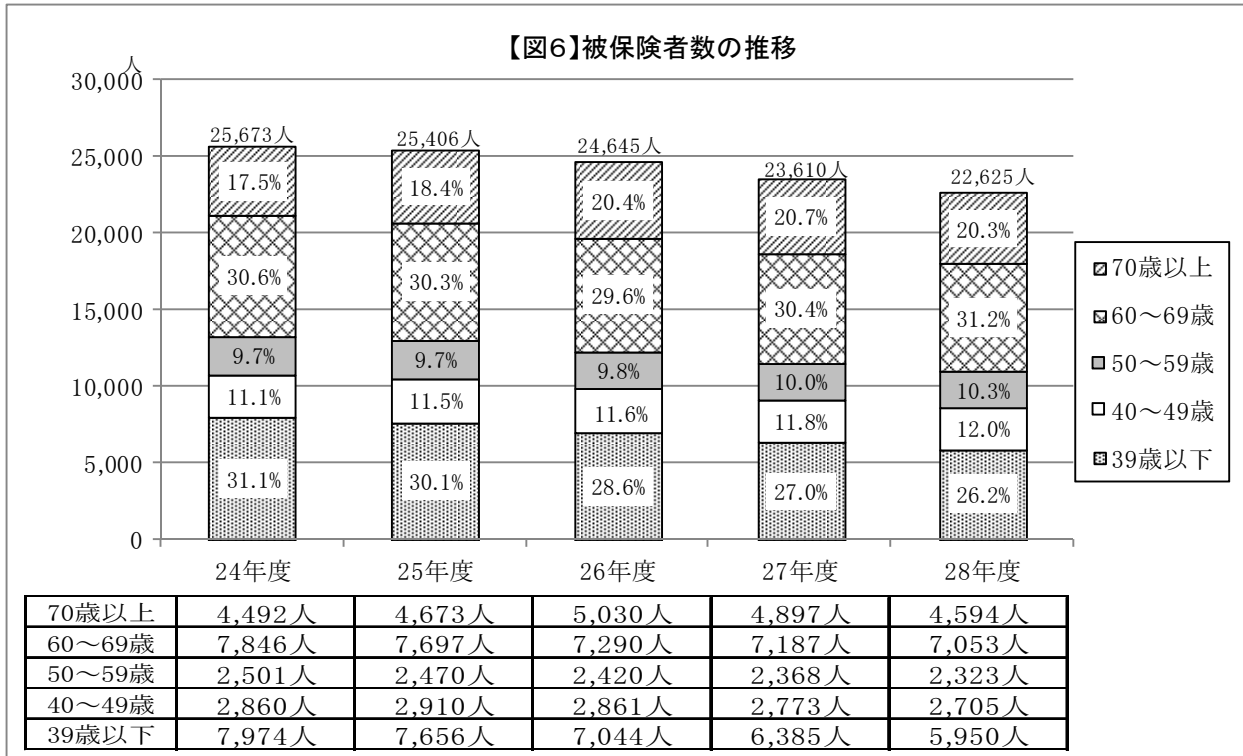
(資料：厚生労働省科学研究所HP「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「平成20～24年 死因別標準化死亡比(SMR)数値表」)

*の付いている値は、全国との比較で両側検定0.05以上の有意差が認められる数値であり、本市で特徴的な数字である。

2 国民健康保険の現状

(1) 被保険者数の推移

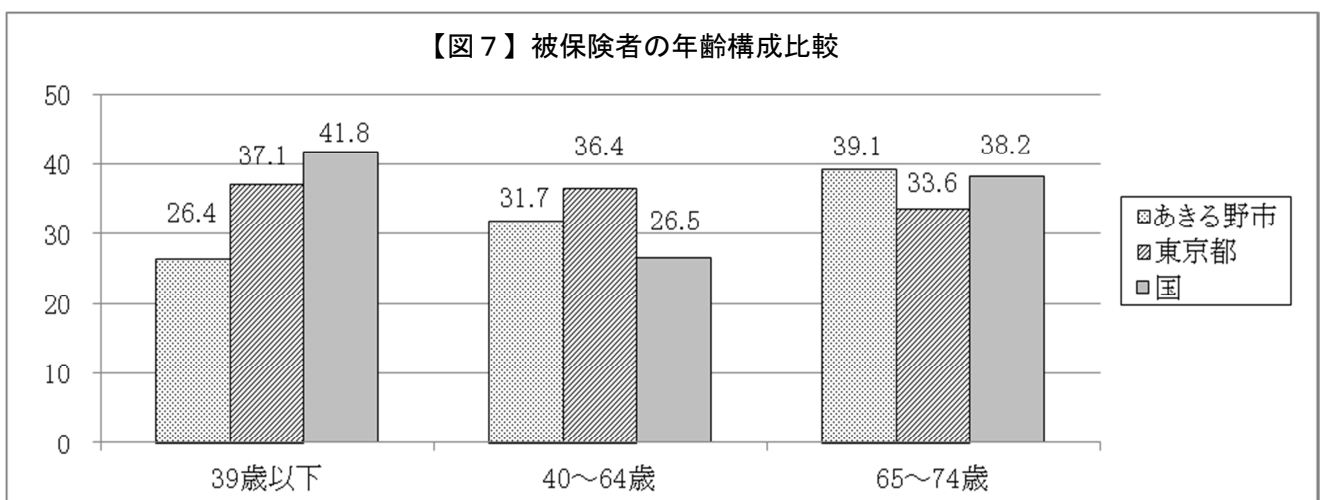
過去5年の推移を見ると、本市の被保険者数は、平成24年度から減少傾向に転じており、平成27年度からはすべての年齢層で減少している。39歳以下の若年層の割合が減少する一方、60歳以上の割合が高まっている。



(資料：国民健康保険実態調査)

(2) 被保険者数の年齢構成比較

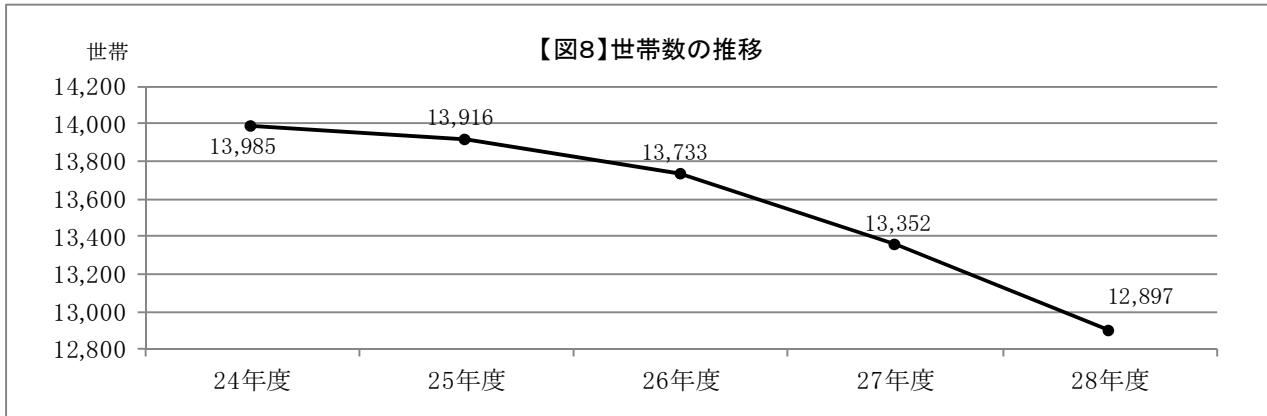
東京都と年齢構成を比較すると、本市では、39歳以下の世代の割合が低く、65歳以上の世代の割合が高くなっており、東京都の中でも高齢化が進んでいる状況であることが分かる。



(資料：KDBシステム「地域の全体像の把握」)

(3) 世帯数の推移

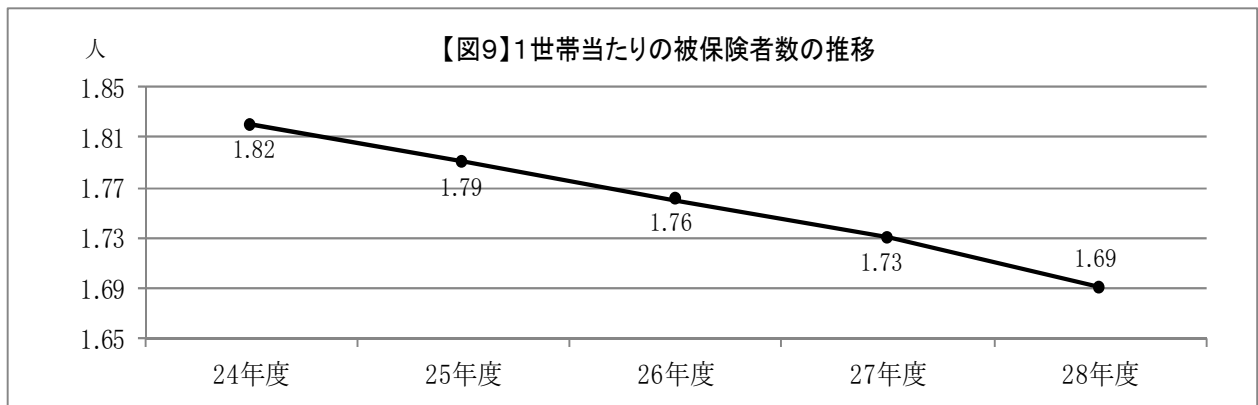
平成24年度からは減少傾向となっており、被保険者数の減少とともに減少している。



(資料：国民健康保険事業状況報告書)

(4) 1世帯当たりの被保険者数の推移

過去5年の推移を見ると、減少傾向にあり、単身世帯もしくは世帯員の中で一人だけ国保を取得するようなケースが増えている。



(資料：国民健康保険事業状況報告書)

(5) 医療機関の状況

千人当たり診療所数と病床数が少ないのは東京都としての傾向と言える。医師数は国・都と比較して少なく、患者数は他と比較して大差がないため、医師の負担が大きくなっていることが考えられる。

	あきる野市	東京都	国
千人当たり			
病院数	0.2	0.1	0.3
診療所数	2.0	2.7	3.0
病床数	27.0	27.5	46.8
医師数	5.0	9.2	9.2
外来患者数	656.0	602.9	668.3
入院患者数	17.3	13.0	18.2

(資料：平成28年度厚生労働省調査・あきる野市医療給付状況・KDBシステム「地域の全体像の把握」)

3 保健事業などの実施状況

(1) 国民健康保険事業における取組状況

①特定健康診査

対象者：40歳から74歳までの国民健康保険被保険者

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
対象者数	17,991人	18,169人	18,045人	17,677人	17,237人
受診者数	8,374人	8,737人	9,009人	8,792人	8,457人
受診率	46.55%	48.09%	49.93%	49.74%	49.06%

②特定保健指導

対象者：特定健康診査において、メタボリックシンドローム判定基準などにより対象となった者

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
対象者数	897人	907人	1,003人	893人	900人
受診者数	207人	200人	236人	159人	138人
受診率	23.08%	22.05%	23.53%	17.81%	15.33%

③ジェネリック医薬品差額通知

対象者：年3回の対象月の受診者のうち、生活習慣病や慢性疾患で服用する医薬品をジェネリック医薬品へ変更した場合の自己負担額軽減額が、1か月当たり100円以上となる国民健康保険被保険者（悪性新生物の患者などを除く）

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
通知数	4,523件	2,835件	3,306件	3,118件	2,543件
削減効果（数量ベース）	43.6%	48.7%	56.1%	61.2%	66.1%

※削減効果は、各年度末（3月調剤分）における新指標数値

(2) 国民健康保険事業以外の市の取組状況

①胃がん検診

対象者：35歳以上の市民

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	4,831人	4,827人	4,848人	5,058人	5,044人
要精密検査数	77人	198人	378人	317人	184人

②肺がん検診

対象者：35歳以上の市民

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	4,950人	4,943人	4,849人	5,240人	5,335人
要精密検査数	72人	120人	73人	63人	55人

③大腸がん検診

対象者：35歳以上の市民

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	9,471人	10,035人	10,469人	11,238人	11,126人
要精密検査数	681人	639人	654人	744人	683人

④乳がん検診

対象者：30歳以上の市民（女性）

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	3,192人	3,217人	3,519人	3,142人	3,415人
要精密検査数	227人	220人	257人	182人	207人

⑤子宮がん検診

対象者：20歳以上の市民（女性）

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	2,783人	2,419人	3,508人	2,771人	3,200人
要精密検査数	21人	33人	31人	33人	37人

⑥前立腺がん検診

対象者：50歳以上の市民（男性）

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	3,523人	3,782人	3,945人	4,219人	4,254人
要精密検査数	324人	279人	314人	389人	368人

⑦歯周病検診

対象者：40歳、50歳、60歳及び70歳の市民

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	426人	446人	421人	429人	474人
要精密検査数	361人	397人	352人	350人	404人

⑧口腔がん検診

対象者：60歳以上の市民

年 度	28年度
受診者数	238人
要精密検査数	7人

⑨骨粗しょう症検診

対象者：40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の市民（女性）

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	172人	95人	127人	124人	140人
要精密検査数	70人	35人	44人	50人	39人

⑩肝炎ウイルス検診

対象者：40歳及び41歳以上で過去の受診機会を逃した市民

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	1,219人	1,007人	1,009人	1,010人	765人
要精密検査数	10人	7人	3人	2人	4人

⑪結核検診

対象者：65歳以上の市民

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	6,678人	7,503人	7,989人	8,476人	8,444人
要精密検査数	187人	221人	286人	329人	118人

⑫生活習慣病予防健康診査

対象者：35歳から39歳までの市民

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診者数	136人	108人	141人	111人	125人

第2章 医療及び健診状況の分析

1 医療データの分析

(1) 国民健康保険（市町村国保）の医療費の状況

医療費総額の推移は増加の傾向にあるが、平成28年度は被保険者数が減となったことなどから医療費総額は減少となった。本市の伸び率は比較的高い状況にあり、24年度と28年度と比較すると1.8%の増加となっている。

(単位：百万円、%)

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	対24年度増減
国	医療費	10,949,263	11,085,965	11,128,011	11,327,283	10,832,004	△ 117,259
	伸び率	0.8	1.2	0.4	1.8	△ 4.4	△ 1.1
東京都	医療費	1,053,945	1,067,751	1,068,137	1,081,361	1,034,182	△ 19,763
	伸び率	0.8	1.3	0.0	1.2	△ 4.4	△ 1.9
あきる野市	医療費	7,152	7,135	7,318	7,398	7,284	+132
	伸び率	3.6	△ 0.2	2.6	1.1	△ 1.5	+1.8

(資料：国民健康保険中央会「医療費速報」、国民健康保険事業状況報告書)

(2) 被保険者1人当たりの医療費の推移

被保険者1人当たりの医療費を比較すると、いずれも増加が続いている。本市の医療費水準は、国及び東京都より低い状況にあったが、高齢化により平成26年度以降は東京都を上回っている。本市の1人当たりの医療費は、24年度と28年度と比較すると15.9%の増加となっている。

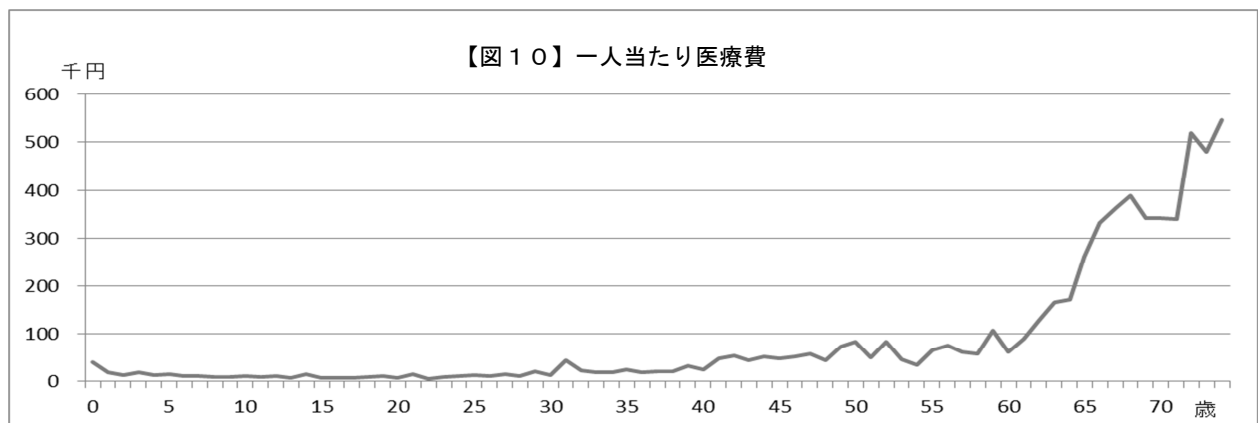
(単位：円、%)

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	対24年度増減
国	医療費	311,899	321,378	330,628	347,801	348,175	+36,276
	伸び率	2.2	3.0	2.9	5.2	0.1	+11.6
東京都	医療費	279,792	287,357	293,611	306,551	306,503	+26,711
	伸び率	2.1	2.7	2.2	4.4	0.0	+9.5
あきる野市	医療費	278,413	280,955	296,533	312,053	322,736	+44,323
	伸び率	3.0	0.9	5.5	5.2	3.4	+15.9

(資料：国民健康保険中央会「医療費速報」、国民健康保険事業状況報告書)

(3) 年齢別 被保険者一人当たり医療費

年齢別に被保険者一人当たりの医療費を見ると、0歳から15歳にかけて減少し、以後は加齢に伴い増加する。

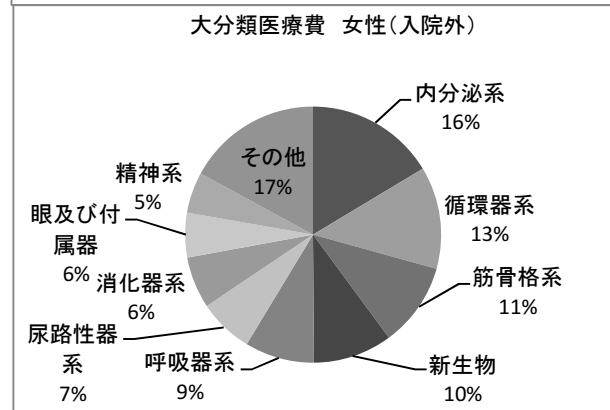
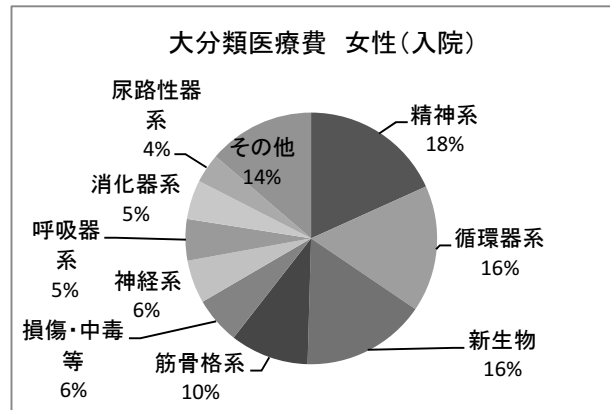
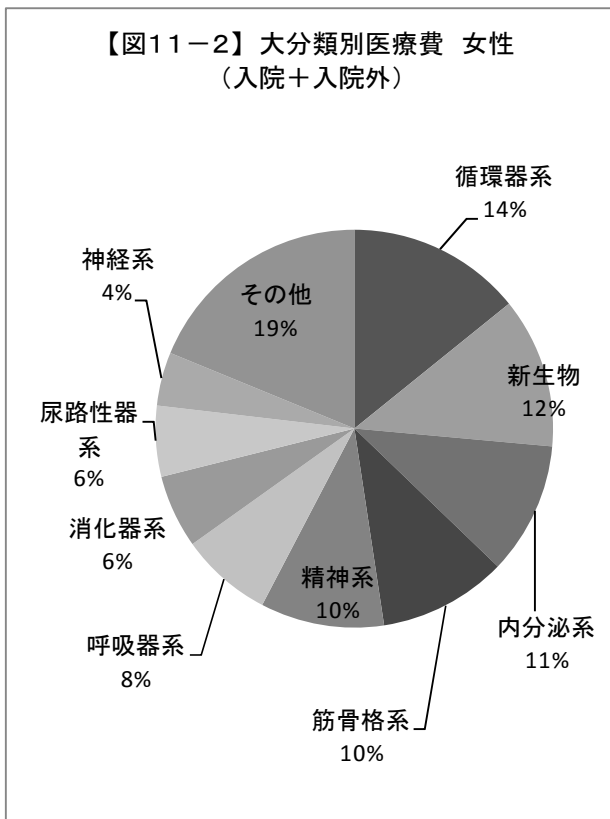
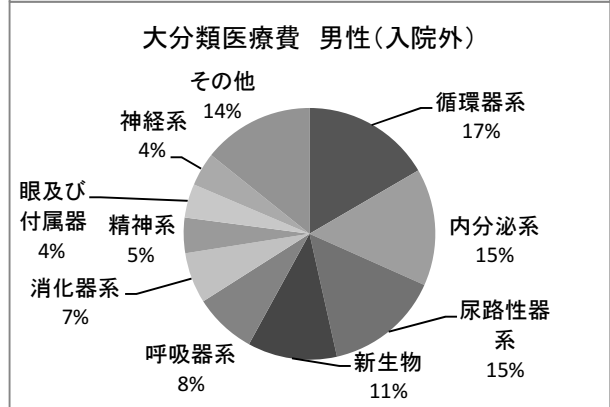
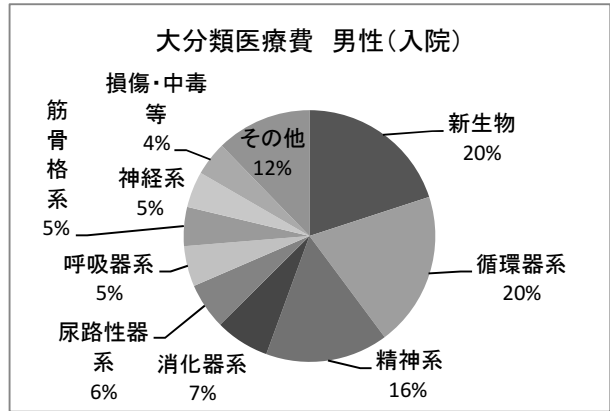
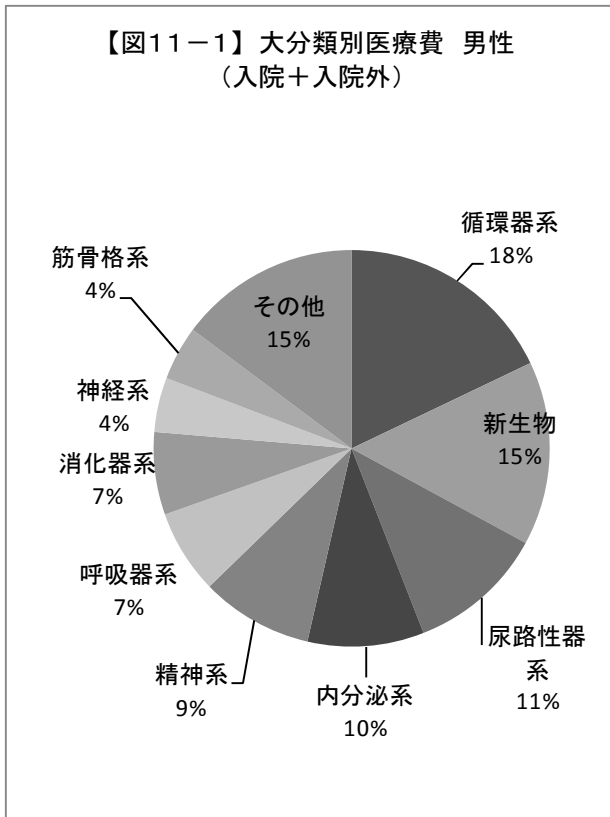


(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析(大分類)」)

(4) 大分類別 疾病分類別医療費の状況 (あきる野市 平成28年度)

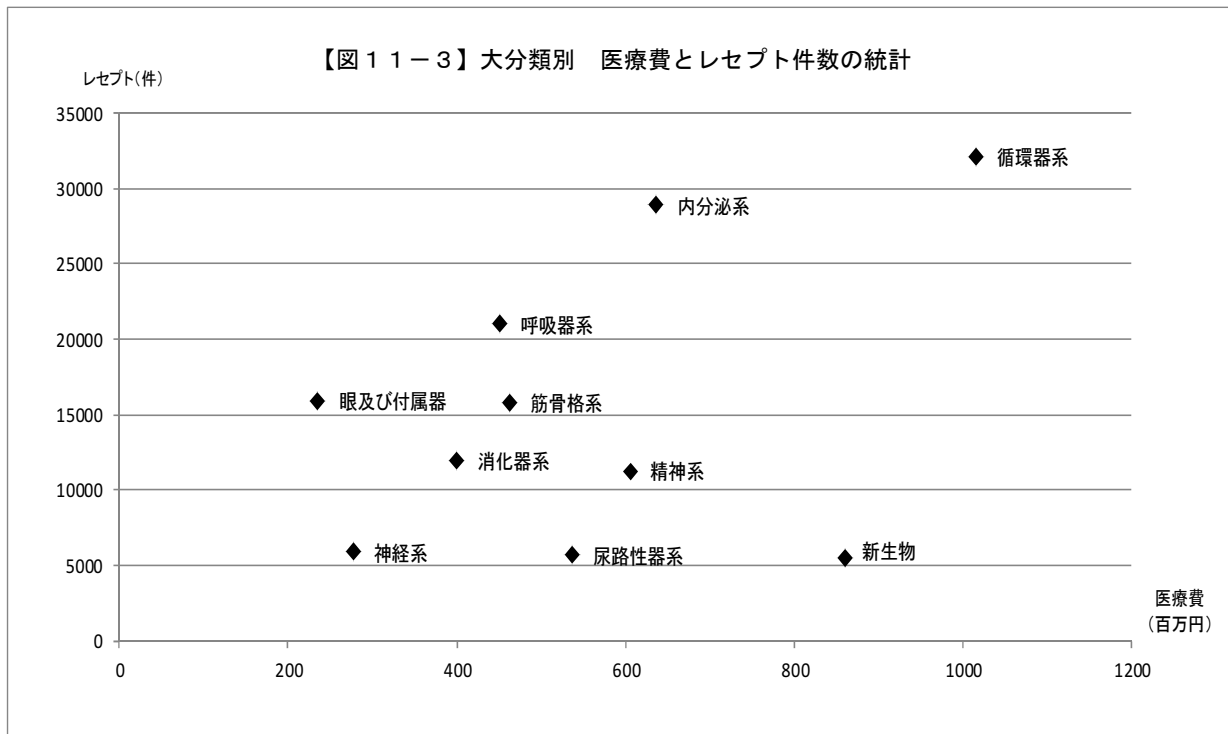
①疾病別 医療費の割合

全体では、男性は「循環器系」「新生物」「尿路器系」の順に割合が高く、女性では「循環器系」「新生物」「内分泌系」の順であった。入院、入院外でも男女間で差がある。



②疾病別 医療費とレセプト件数の統計（医療費上位10分類）

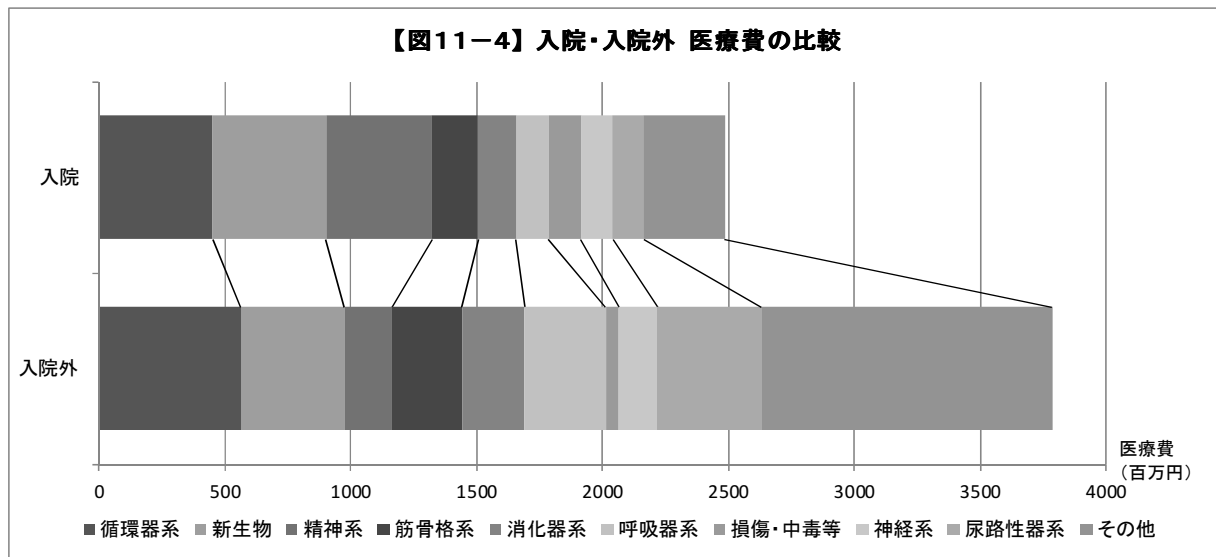
「循環器系」の疾患は、患者数が多く医療費も高額であるが、「新生物」の疾患は、患者数は少ないが罹患した場合の医療費が高額になる疾病と言える。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（大分類）」)

③入院・入院外別 医療費の比較

入院外はレセプト件数が多く、医療費も高額になっているが、「新生物」「精神系」「損傷・中毒等」の疾病についてはレセプト件数の少ない入院の方が高額になっている。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（大分類）」)

(5) 細小分類別 疾病分類別医療費の状況 (あきる野市 平成28年度)

① 疾病分類別医療費の状況 (入院)

医療費、レセプト件数、レセプト一件当たり医療費のそれぞれ上位10疾病をまとめた。

医療費、レセプト件数いずれも「統合失調症」が一番多く、また、上位10疾病を見ると、「脳梗塞」「糖尿病」「狭心症」「がん」など、生活習慣病が多く見られる。

医療費 上位10疾病

医療費順位	疾病名	医療費(円)	レセプト件数 順位	レセプト一件当たり 医療費順位
1	統合失調症	263,228,310	1	60
2	骨折	92,530,810	3	22
3	慢性腎不全(透析あり)	71,030,720	8	15
4	脳梗塞	67,365,170	5	30
5	不整脈	66,911,540	15	7
6	大腸がん	62,641,800	10	11
7	狭心症	59,822,770	7	23
8	うつ病	59,359,110	2	58
9	関節疾患	58,371,330	9	16
10	小児科	56,481,050	4	46

レセプト件数 上位10疾病

レセプト件数 順位	疾病名	レセプト件数(件)	医療費順位	レセプト一件当たり 医療費順位
1	統合失調症	771	1	60
2	うつ病	170	8	58
3	骨折	143	2	22
4	小児科	130	10	46
5	脳梗塞	121	4	30
6	大腸ポリープ	117	22	71
7	狭心症	94	7	23
8	慢性腎不全(透析あり)	93	3	15
9	関節疾患	77	9	16
10	大腸がん	75	6	11

レセプト一件当たり医療費 上位10疾病

レセプト一件当たり 医療費順位	疾病名	レセプト一件当たり 医療費(円)	医療費順位	レセプト件数 順位
1	白血病	3,394,517	29	63
2	大動脈瘤	2,133,090	19	43
3	脳腫瘍	1,856,765	48	68
4	心臓弁膜症	1,610,278	20	39
5	心筋梗塞	1,460,376	21	37
6	喉頭がん	1,195,671	34	50
7	不整脈	1,194,849	5	15
8	骨がん	1,190,990	66	71
9	肺がん	966,986	13	18
10	クモ膜下出血	915,078	17	24

(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析(細小分類)」)

※細小分類は全82疾病+小児科で構成されており、この分類にない疾病については「その他」の項目にまとめて集計されている。この調査では、「その他」に分類されたものを除いて順位を掲載した。

②疾病分類別医療費の状況（入院外）

各集計の上位10疾病には、「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」などの生活習慣病が多い。「慢性腎不全」は、生活習慣病を原因に発症するケースが多く、医療費も高くなっている。「C型肝炎」については、効果が高く高額な薬剤の使用が認可されたことが医療費に反映されていると考えられる。

医療費 上位10疾病

医療費順位	疾病名	医療費(円)	レセプト件数 順位	レセプト一件当たり 医療費順位
1	糖尿病	319,781,510	4	36
2	慢性腎不全(透析あり)	309,523,260	18	1
3	高血圧症	295,586,370	1	72
4	脂質異常症	223,522,370	2	69
5	小児科	155,767,340	3	75
6	関節疾患	112,099,700	5	50
7	不整脈	88,930,460	11	33
8	C型肝炎	79,811,550	30	4
9	乳がん	78,832,660	20	11
10	気管支喘息	78,816,290	10	41

レセプト件数 上位10疾病

レセプト件数 順位	疾病名	レセプト件数(件)	医療費順位	レセプト一件当たり 医療費順位
1	高血圧症	21,098	3	72
2	脂質異常症	14,523	4	69
3	小児科	12,366	5	75
4	糖尿病	11,837	1	36
5	関節疾患	5,049	6	50
6	うつ病	3,984	11	60
7	緑内障	3,257	15	70
8	骨粗しょう症	3,252	14	65
9	統合失調症	3,146	12	49
10	気管支喘息	3,062	10	41

レセプト一件当たり医療費 上位10疾病

レセプト一件当たり 医療費順位	疾病名	レセプト一件当たり 医療費(円)	医療費順位	レセプト件数 順位
1	慢性腎不全(透析あり)	409,965	2	18
2	白血病	378,729	32	70
3	脳腫瘍	337,401	41	74
4	C型肝炎	230,004	8	30
5	クローン病	208,553	28	55
6	肺がん	202,758	13	34
7	腎臓がん	158,040	35	60
8	間質性肺炎	130,337	30	47
9	肝がん	125,395	43	64
10	慢性腎不全(透析なし)	119,635	24	38

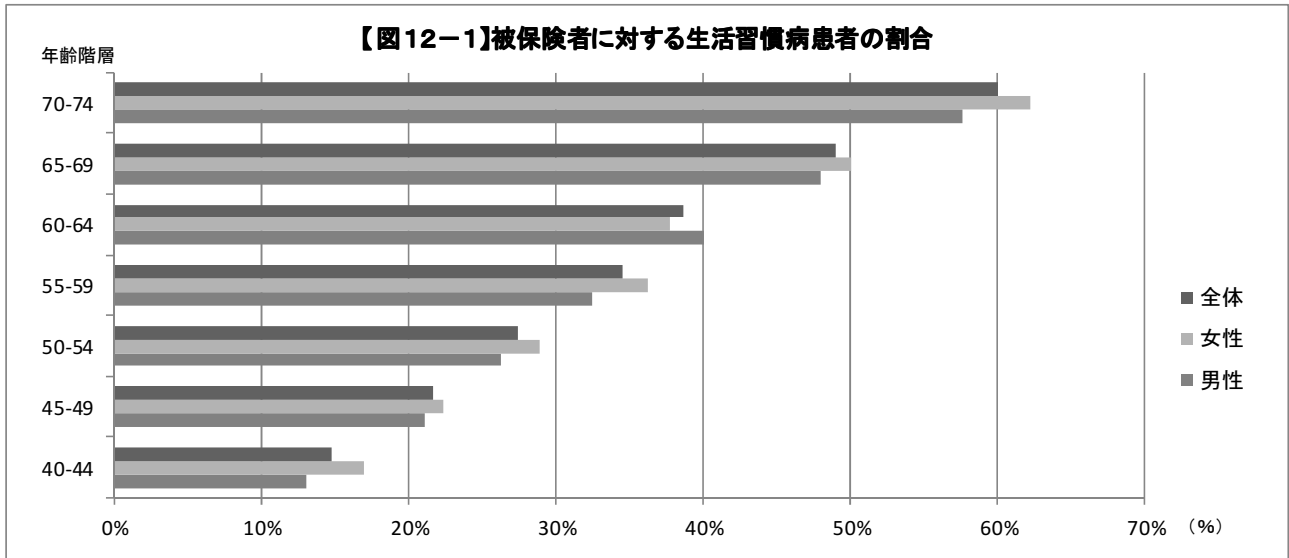
(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（細小分類）」)

(6) 生活習慣病に係る医療費の状況

①生活習慣病患者の年齢階層別割合

生活習慣病は年齢が上がるごとに有病率が高くなる。ここでは40歳から74歳までの被保険者の状況について調査する。

図12-1では平成29年3月診療分のレセプトの中で生活習慣病と診断された患者を調べ、年齢階層ごとに被保険者数に対する割合を算出した。年齢階層は40歳から5歳ごとに区切っている。



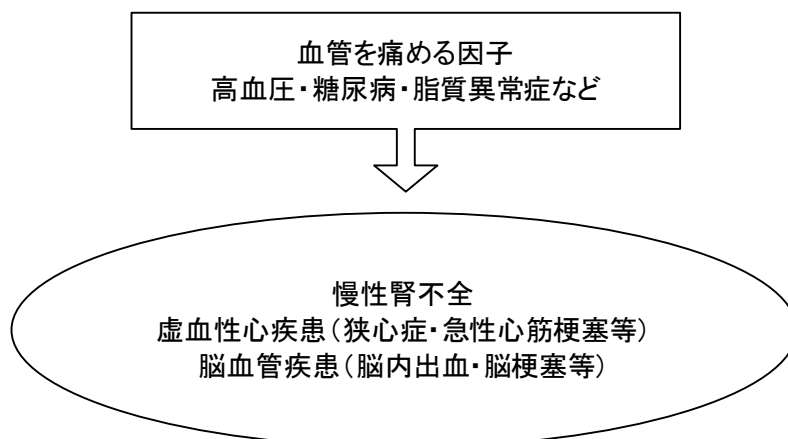
(資料：KDBシステム「厚生労働省様式(様式3-1)生活習慣病のレセプト分析」)

※生活習慣病分類疾病

糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、脂肪肝、動脈硬化症、脳出血、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、その他厚生労働省で定めた疾病のこと。そのうち脳出血、脳梗塞等は「脳血管疾患」、狭心症、心筋梗塞等は「虚血性心疾患」に集計上まとめて分類する。また、生活習慣病が原因となることが多い「慢性腎不全(透析あり)」のレセプトにも関連付けて分析する。

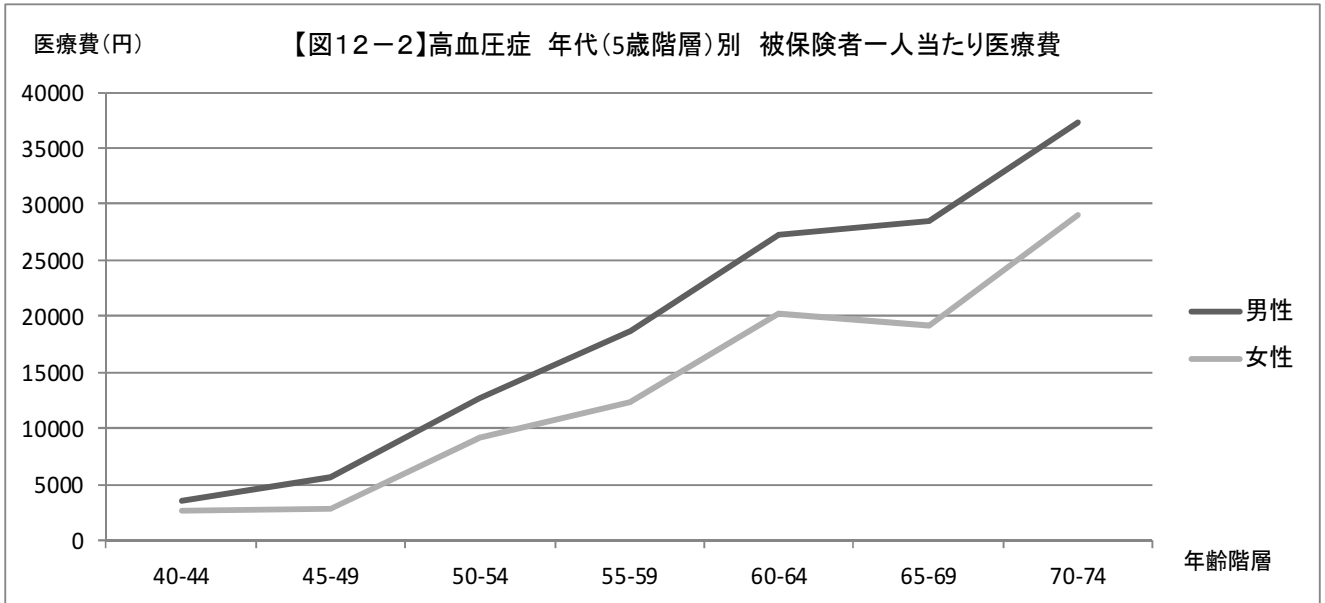
② 生活習慣病の原因になる因子

「慢性腎不全」、「脳血管疾患」、「虚血性心疾患」は、「高血圧症」「糖尿病」「脂質異常症」などの原因によって発病リスクが高まる。ここでは血管を痛める3因子の医療の状況について分析する。



(ア) 高血圧症の医療の状況

図12-2は本市の高血圧の被保険者一人当たり年間医療費（平成28年度）、図12-3は被保険者に対する高血圧症と診断された患者の割合（平成29年3月診療分）を示している。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（生活習慣病）」)

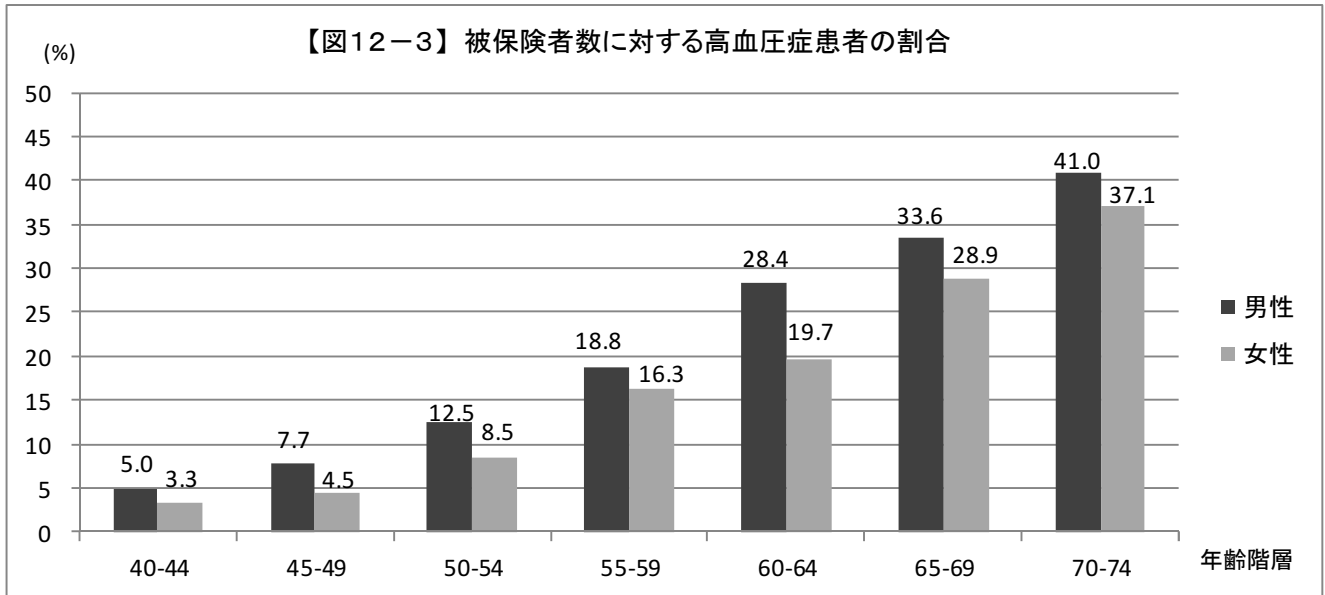


図12-4は平成29年3月診療分のレセプトで高血圧症と診断された人のうち、「糖尿病」「高尿酸血症」「脂質異常症」の診断も受けている人の割合を示している。

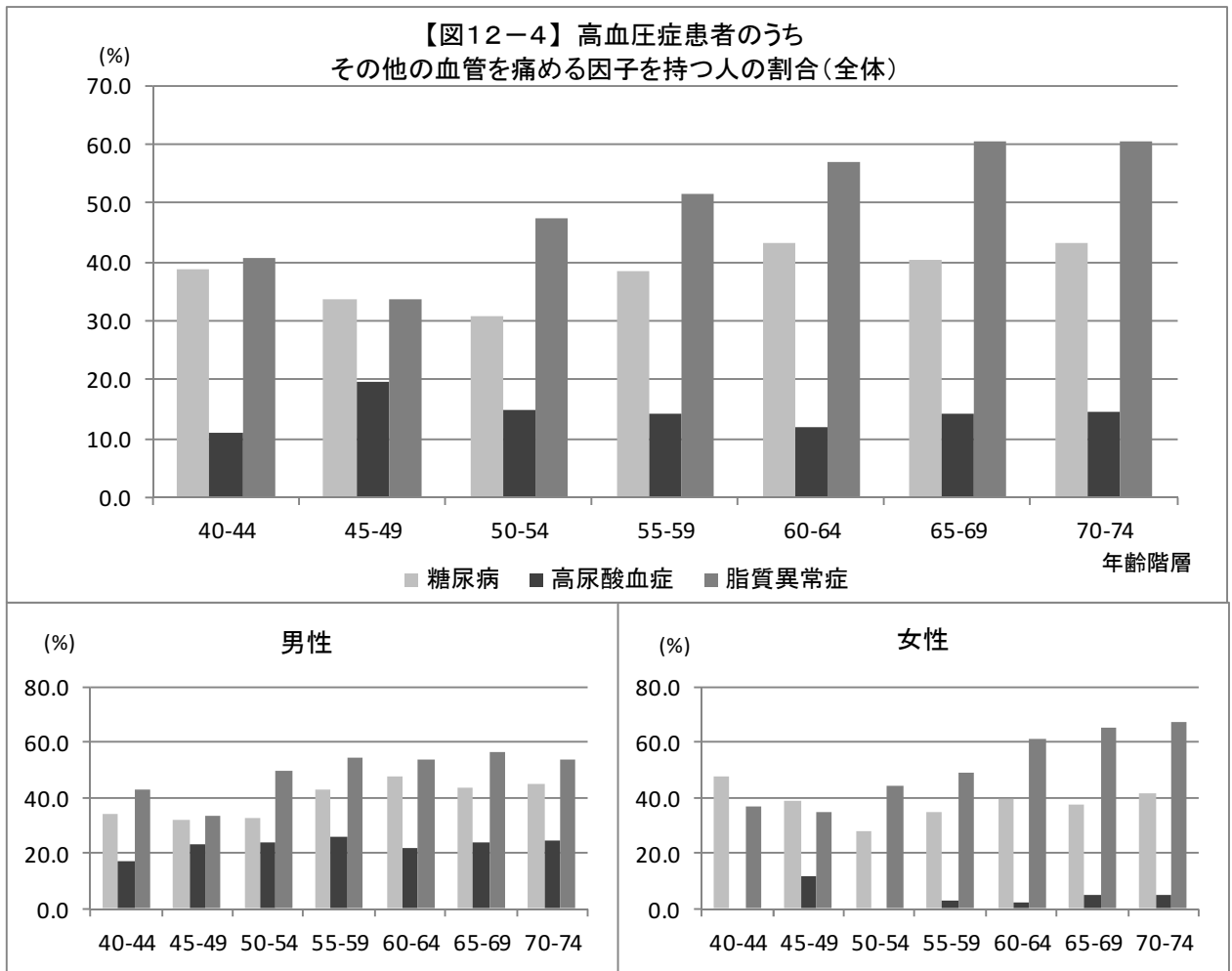


図12-3, 4 (資料: KDBシステム「厚生労働省様式(様式3-3)高血圧症のレセプト分析」)

図12-5は平成29年3月診療分のレセプトで「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「慢性腎不全(透析あり)」と診断された人のうち、高血圧症の診断も受けている人の割合を示している。

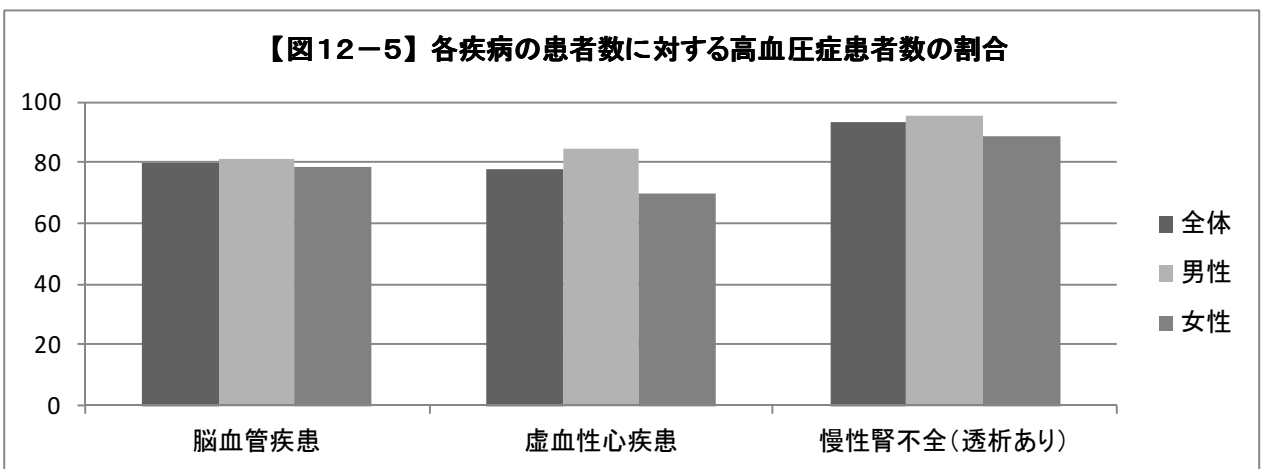
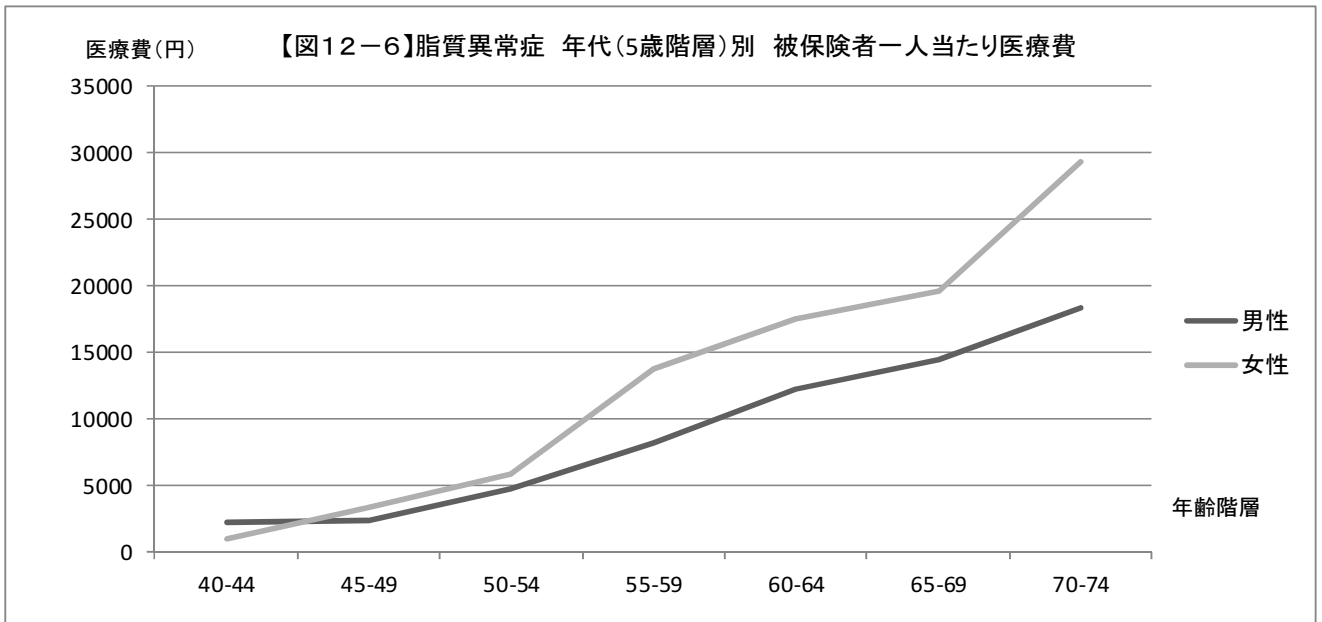


図12-5 (資料: KDBシステム「厚生労働省様式(様式3-5)虚血性心疾患のレセプト分析、(様式3-6)脳血管疾患のレセプト分析、(様式3-7)人工透析のレセプト分析」)

(イ) 脂質異常症の医療の状況

図12-6は本市の脂質異常症の被保険者一人当たり年間医療費（平成28年度）、図12-7は被保険者に対する脂質異常症と診断された患者の割合（平成29年3月診療分）を示している。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（生活習慣病）」)

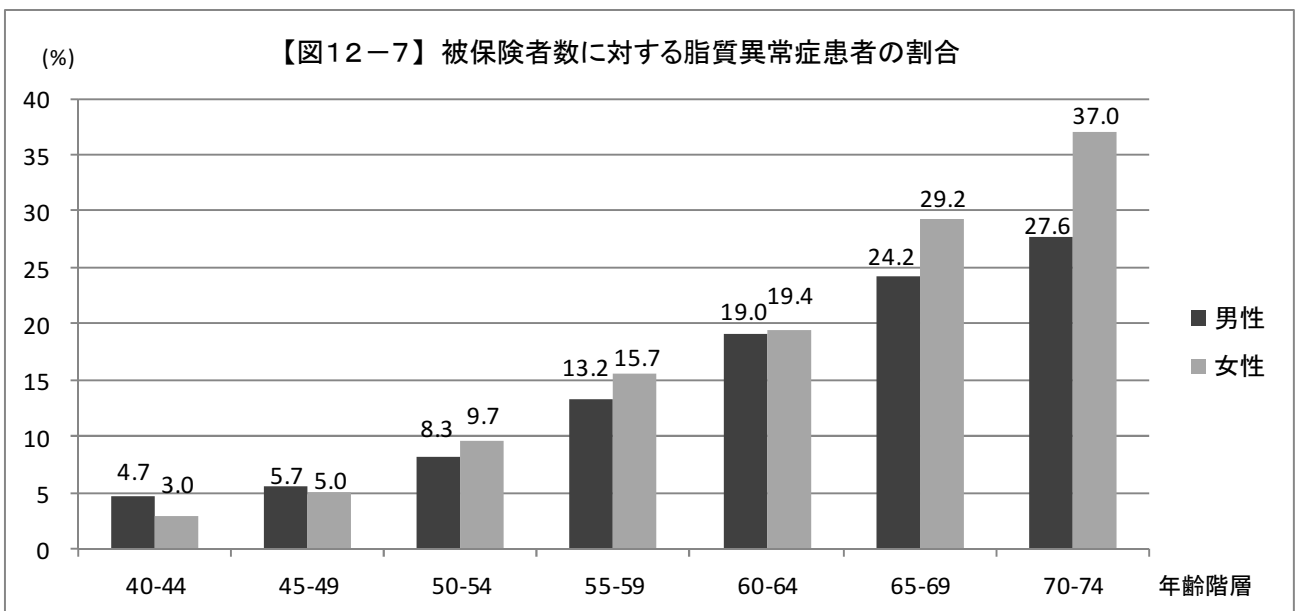


図12-8は平成29年3月診療分のレセプトで脂質異常症と診断された人のうち、「糖尿病」「高血圧」「高尿酸血症」の診断も受けている人の割合を示している。

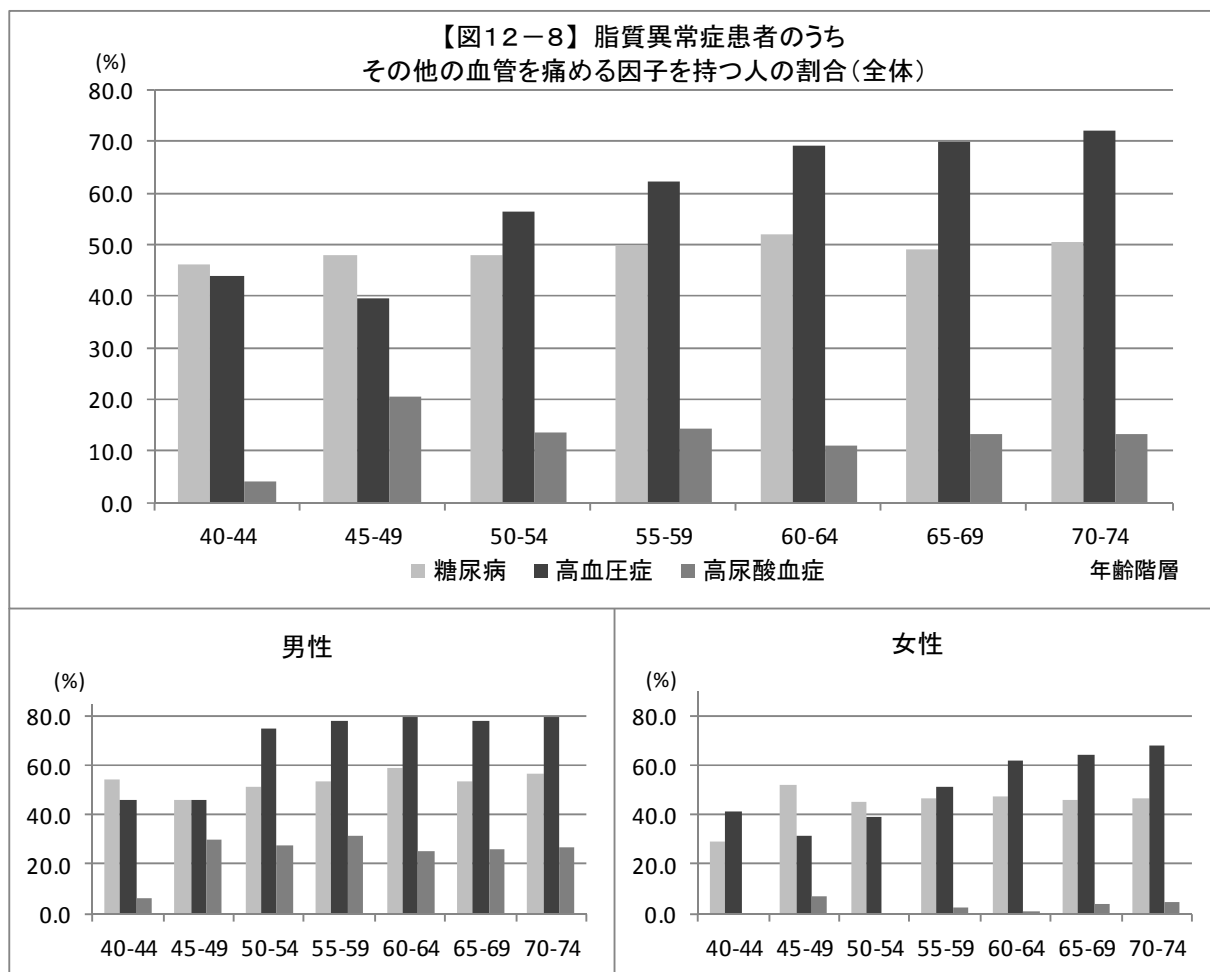


図12-7, 8 (資料: KDBシステム「厚生労働省様式(様式3-4)脂質異常症のレセプト分析」)

図12-9は平成29年3月診療分のレセプトで「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「慢性腎不全(透析あり)」と診断された人のうち、脂質異常症の診断も受けている人の割合を示している。

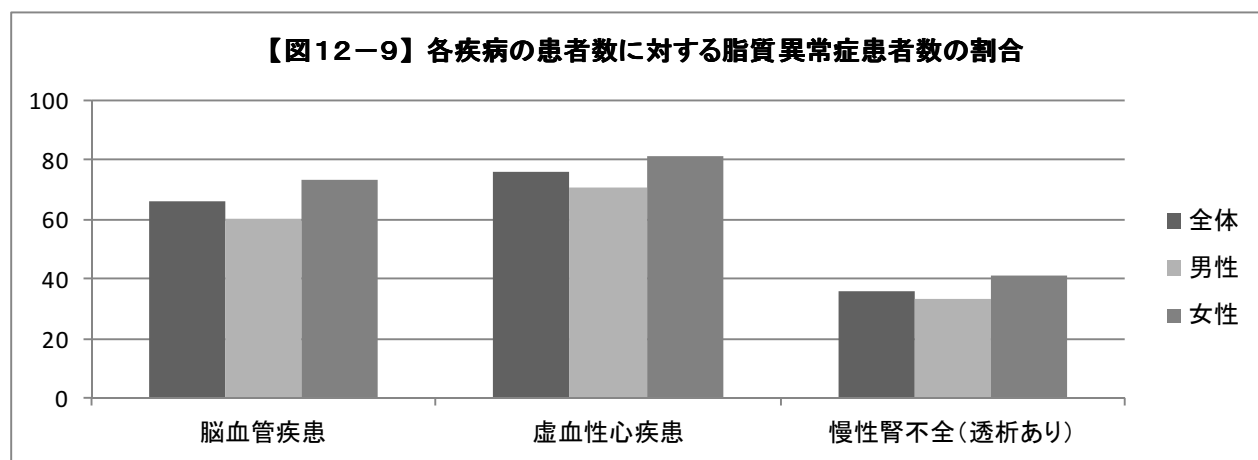
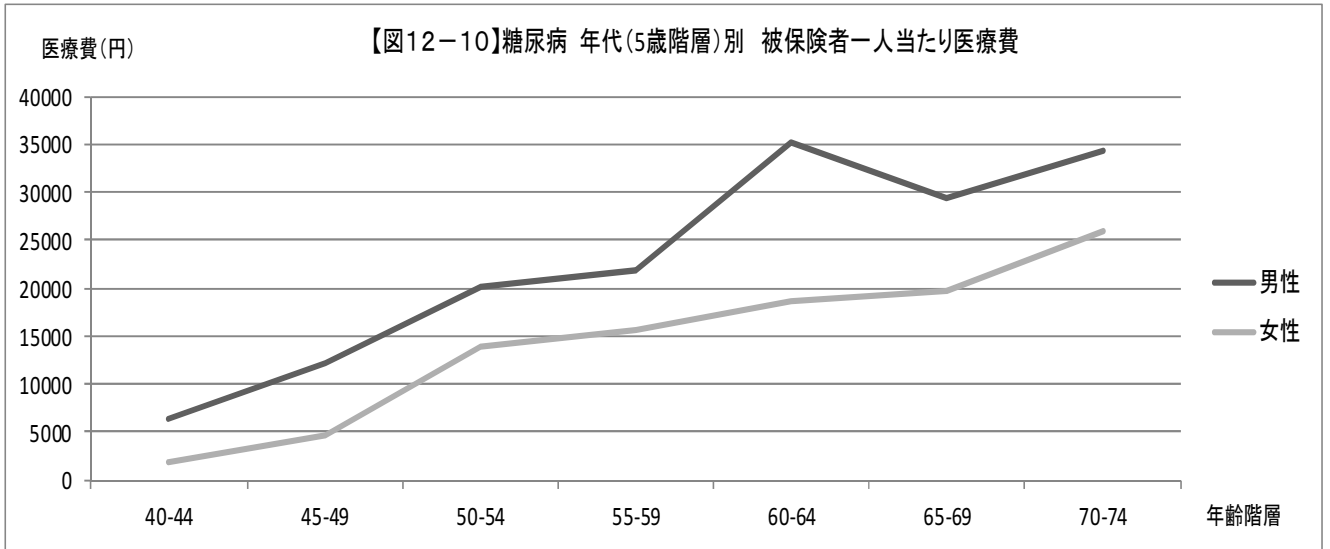


図12-9 (資料: KDBシステム「厚生労働省様式(様式3-5)虚血性心疾患のレセプト分析、(様式3-6)脳血管疾患のレセプト分析、(様式3-7)人工透析のレセプト分析」)

(ウ) 糖尿病の医療の状況

図12-10は本市の糖尿病の被保険者一人当たり年間医療費（平成28年度）、図12-11は被保険者に対する糖尿病と診断された患者の割合（平成29年3月診療分）を示している。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（生活習慣病）」)

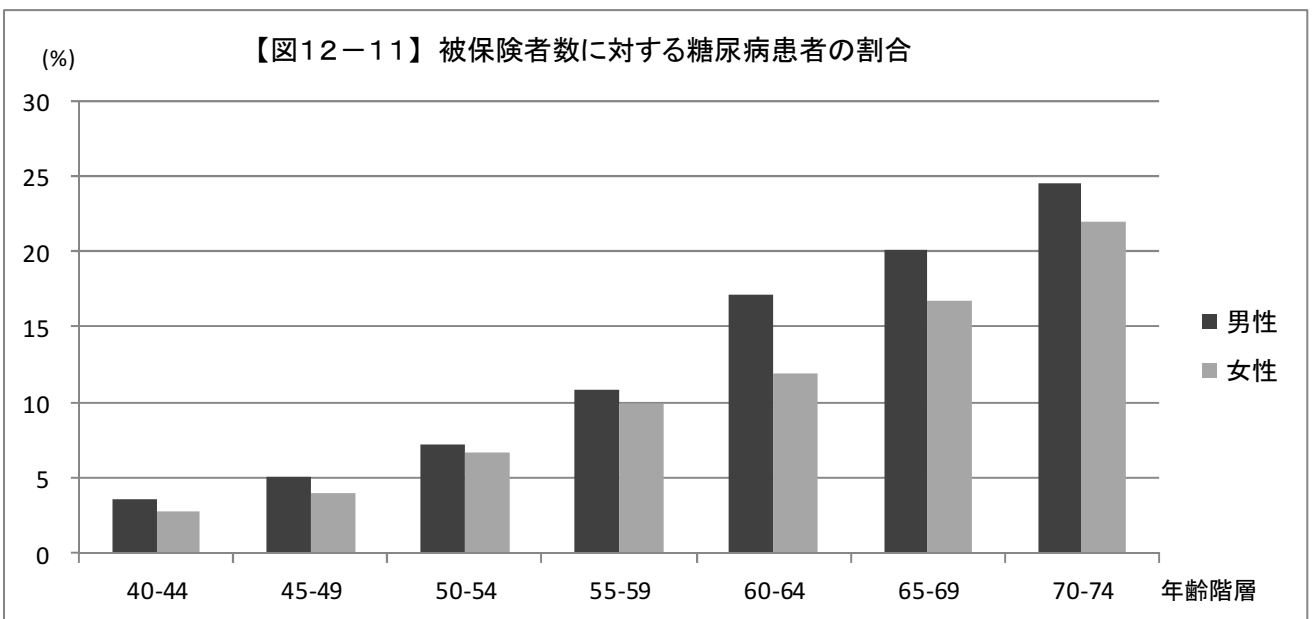


図12-12は平成29年3月診療分のレセプトで糖尿病と診断された人のうち、「高血圧症」「高尿酸血症」「脂質異常症」の診断も受けている人の割合を示している。

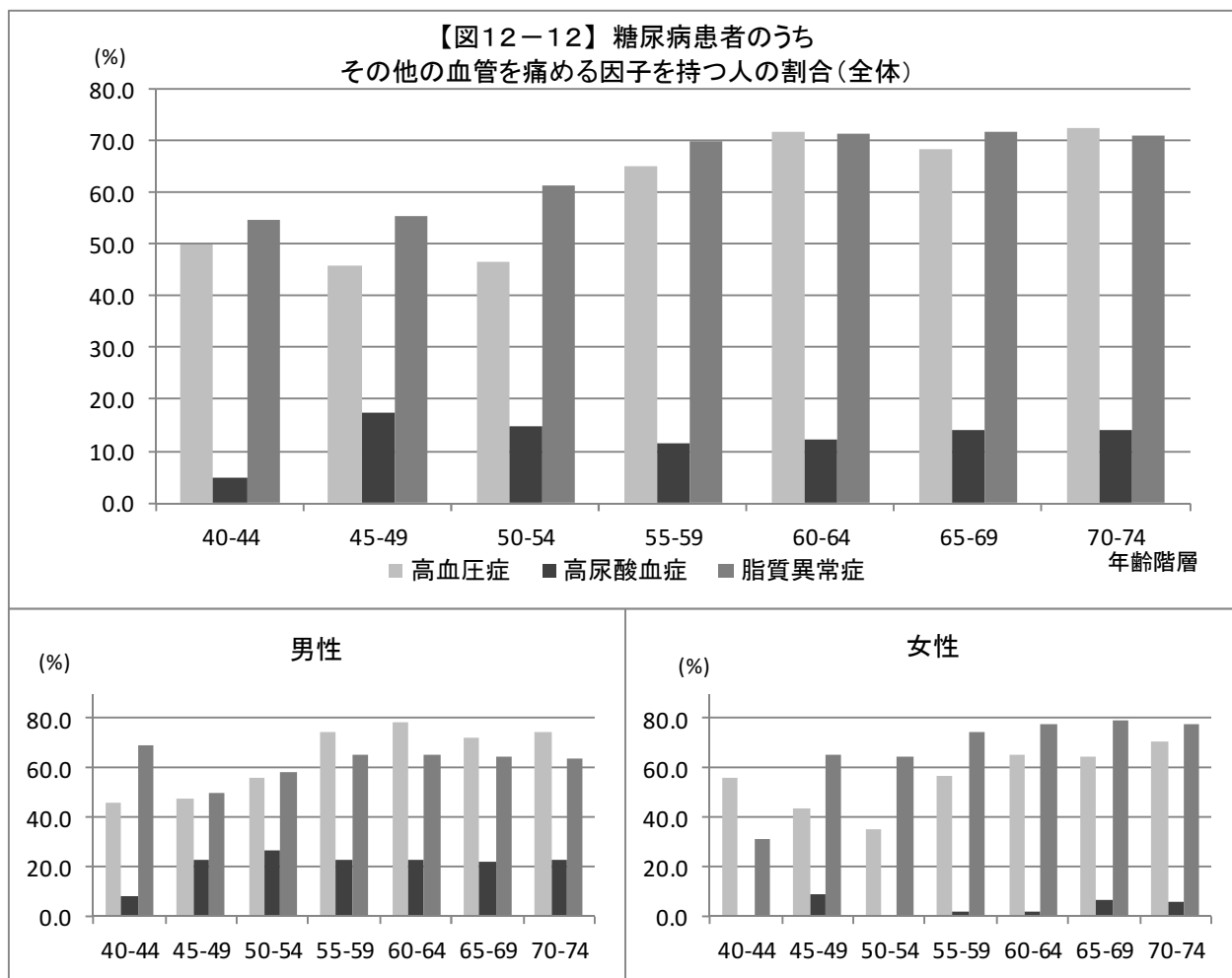


図12-11, 12 (資料: KDBシステム「厚生労働省様式(様式3-2)糖尿病のレセプト分析」)

図12-13平成29年3月診療分のレセプトで「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「慢性腎不全(透析あり)」と診断された人のうち、糖尿病の診断も受けている人の割合を示している。

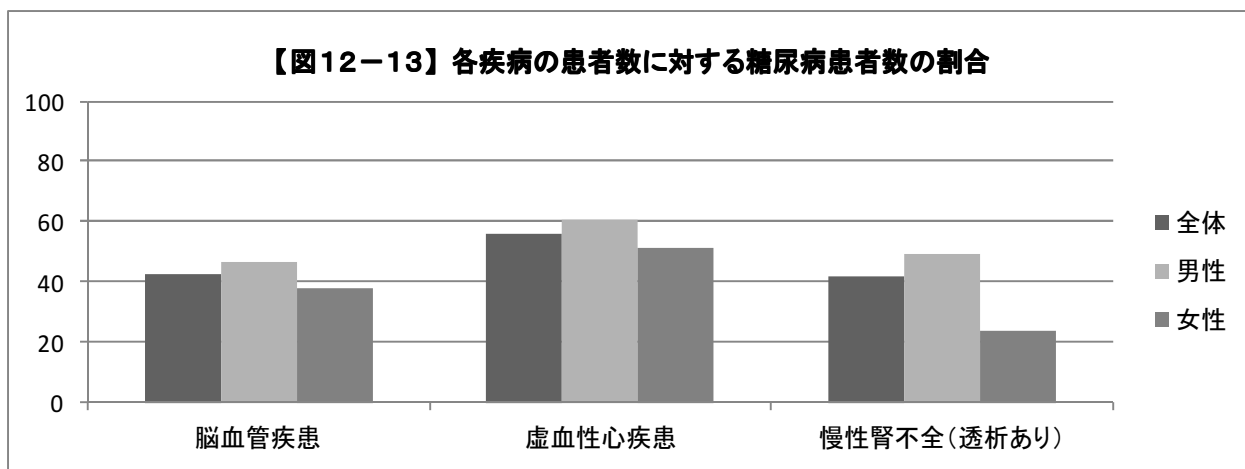
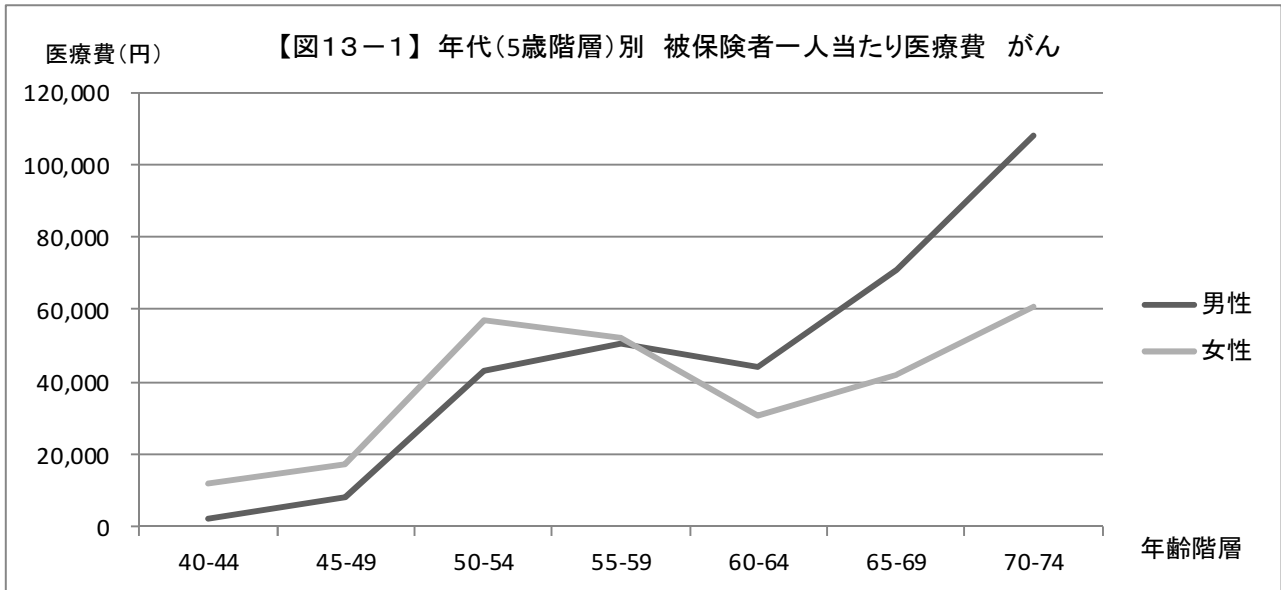


図12-13 (資料: KDBシステム「厚生労働省様式(様式3-5)虚血性心疾患のレセプト分析、(様式3-6)脳血管疾患のレセプト分析、(様式3-7)人工透析のレセプト分析」)

(7) がんに係る医療費の状況

図13-1は本市のがん（悪性新生物）の被保険者一人当たり年間医療費（平成28年度）示している。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（生活習慣病）」)

がん（悪性新生物）は発症部位に男女差があるため、男女の疾病別に医療費を集計し、以下の表に上位10位をまとめた。

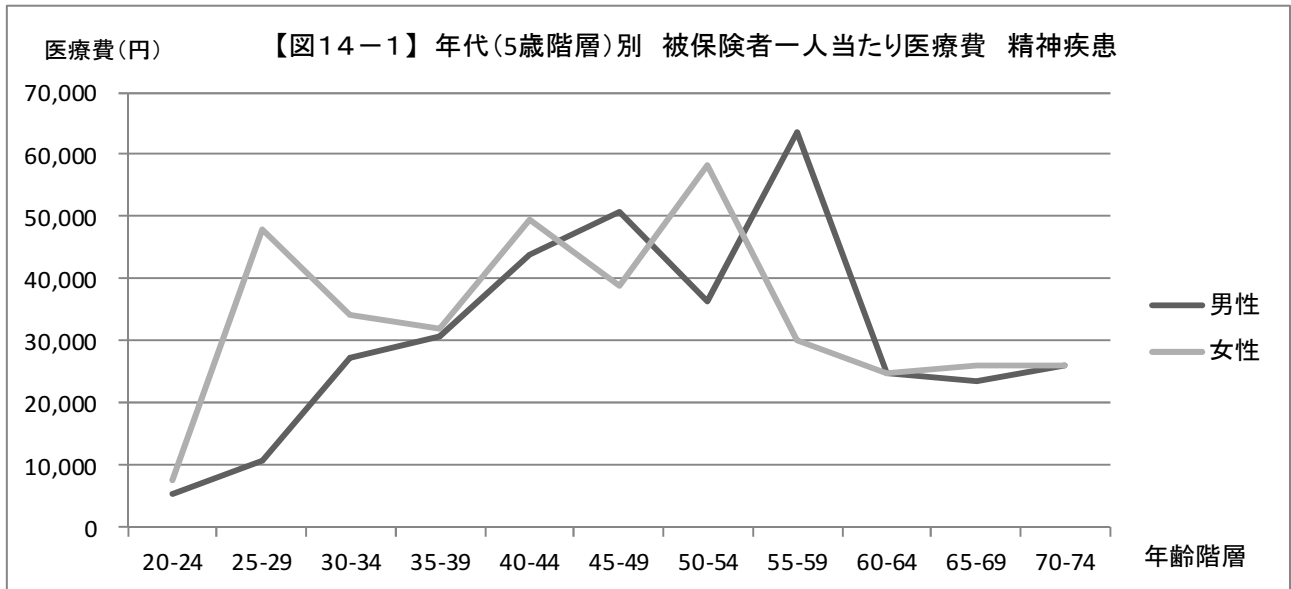
順位	疾病名	医療費
1	大腸がん	79,983,150
2	肺がん	78,177,640
3	前立腺がん	48,413,970
4	胃がん	45,457,200
5	食道がん	15,357,030
6	喉頭がん	11,453,930
7	腎臓がん	10,585,290
8	膵臓がん	7,713,830
9	脳腫瘍	5,674,120
10	膀胱がん	4,958,080

順位	疾病名	医療費
1	乳がん	95,860,480
2	胃がん	33,519,430
3	肺がん	28,456,730
4	大腸がん	28,270,760
5	子宮体がん	17,607,600
6	腎臓がん	9,311,360
7	肝がん	7,842,760
8	甲状腺がん	5,055,560
9	食道がん	4,506,860
10	脳腫瘍	4,450,020

(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（細小分類）」)

(8) 精神疾患に係る医療費の状況

図14-1は本市の精神疾患の被保険者一人当たり年間医療費（平成28年度）示している。他の生活習慣病については40歳以降で罹患することが多く、医療費についても40歳以降で急速に上昇していたため、被保険者一人当たり医療費は40歳以降に絞って集計したが、精神疾患については、20歳以降では年齢との相関性がなかったため、20歳以降の医療費を集計した。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（生活習慣病）」)

細小分類では、「うつ病」「統合失調」「認知症」が精神疾患として分類されている（他にも精神疾患に分類される病名はあるが、細小分類では「その他の疾病」に分類されている）。

外来と入院のレセプト件数を見ると、外来では「うつ病」が最多となっているが、入院では「統合失調症」が最多となっている。

外来

疾病名	女性			男性		
	レセプト件数	総医療費	レセプト一件あたり医療費	レセプト件数	総医療費	レセプト一件あたり医療費
うつ病	2,435	42,194,110	17,328	1,549	33,827,690	21,838
統合失調症	1,569	35,666,360	22,732	1,577	34,419,870	21,826
認知症	4	158,100	39,525	2	108,360	54,180

入院

疾病名	女性			男性		
	レセプト件数	総医療費	レセプト一件あたり医療費	レセプト件数	総医療費	レセプト一件あたり医療費
うつ病	111	38,734,250	348,957	59	20,624,860	349,574
統合失調症	380	130,679,560	343,894	391	132,548,750	338,999
認知症	21	10,330,060	491,908	30	11,736,030	391,201

(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（細小分類）」)